

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブソリューションサービス

東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料=米消費者物価指数は鈍化継続見込み

2024年10月7日

10日に9月の米消費者物価指数(CPI)が発表されます。前回8月の米CPIは前年比+2.5%と7月の+2.9%から大きく鈍化。3月の+3.5%から5カ月連続での伸び鈍化となりました。変動の激しい食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+3.2%と7月と同水準の伸びとなっています。なお、コア指数前年比については昨年3月の+5.6%から横ばいを交えながらも反発はなく、じりじりと落ちていく流れが続いています。前月比は+0.2%と市場予想通り、コア前月比は+0.3%と予想の+0.2%を上回りました。

前回のCPIの内訳を確認しましょう。まず目立つのがガソリンの低下。前年比-10.3%と大きく低下した影響で、エネルギー全体でも-4.0%となっており、総合指数の鈍化につながりました。ガソリンは前月比でも-0.6%と低下していますが、それ以上に昨年8月分が前月比+8.3%と上昇していた影響が大きいとみられます(比較元の数字が上昇することで、大きく鈍化したように見える)。

コア指数の項目で目立ったのが自動車価格の鈍化継続です。新車が前年比-1.2%と6カ月連続での前年比マイナス圏となりました。中古車に至っては-10.4%となり、マイナス圏は22カ月連続。さらに直近3カ月連続で前年比10%を超える低下となっています。自動車に関しては一時サプライチェーン問題などで供給が制約され、価格が上昇した分の反動が続いている状況と見られます。そのほか、衣料品の上昇、運輸サービスの上昇などが支えとなって、コア前月比は予想を上回りました。

今回の予想は前年比が+2.3%とさらなる鈍化見込み。6カ月連続の伸び鈍化となる見込みです。コアは+3.2%で横ばい見込みです。前月比は+0.1%、コア前月比は+0.2%と、ともに8月から小幅鈍化見込みです。8月から9月にかけて米国ではガソリン価格が低下。米エネルギー情報局(EIA)による全米全種平均は8月が1ガロン当たり3.507ドルなのに対して、9月は3.338ドルと前月比4.8%の低下となりました。今年の8月から9月にかけてはほぼ横ばい(3.954ドル→3.958ドル)となっており、EIAベースでは前年比-11.3%から-15.7%となります。こうしたエネルギー価格の低下が全体を押し下げるとみられます。一方でコアが横ばいという予想ですが、こちらは前回大きく下げた自動車関連の押し上げが見込まれます。特に前回-10.4%と3カ月連続で10%超のマイナスとなった中古車ですが、今年の8月から9月にかけて前月比-5.6%(季節調整前)と1963年1月以来の大きな下落率を記録。前年比はその下がった水準からの比較ですから、前月比で少しぐらいマイナスでも前回ほどの低下にはならないとみられ、コアを押し上げると期待されます。

予想前後であれば総合の鈍化を受けても大幅利下げ期待の押し上げにはなりにくいと考えています。とはいえ、利下げを否定するような数字でもなく、0.25%利下げ期待を支える形となりそう。ドル円は若干の買い材料も影響は限定的と見ます。ただ、予想からの乖離があった場合は要注意。11月のFOMCまではかなり不安定な動きが見込まれます。

米国以外の材料としては、9日のNZ政策金利が注目されます。NZ準備銀行(RBNZ/中央銀行)は前回8月の会合で0.25%の利下げを実施。利下げサイクルを開始しました。ただ、これまでの引き締めがやや過剰ではなかったかとの警戒感が出ており、今回の会合

では0.5%の大幅利下げを見込む動きが広がっています。

先月19日に発表された第2四半期GDPは前期比でマイナス圏となりました。また、これまでの引き締めの影響もあって住宅価格の低下なども見られており、景気支援の動きが期待されています。7月に発表された第2四半期消費者物価指数は前年比+3.3%と第1四半期の+4.0%から大きく鈍化。インフレターゲット(1-3%)は上回っていますが、第3四半期の予想は+2.3%とターゲット到達が見込まれています。また、レンジ中央値2.0%に近い水準まで早い段階で到達する見通しとなっており、市場では2.0%を割り込む可能性が指摘されています。

短期金利市場は約75%、エコノミスト予想は約80%が0.5%利下げを見込んでいます、また次回11月の会合でも連続で0.5%利下げとなる可能性が意識されており、声明なども注目されています。大幅利下げを実施し、今後も景気支援を強める姿勢を示すと、NZドル売りが広がる可能性があります。

山岡和雅 | ミンカブソリューションサービシーズ 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」ずばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブソリューションサービシーズは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブソリューションサービシーズが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブソリューションサービシーズ)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。